

一般社団法人 日本非破壊検査協会
2019 年度 鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門
衝撃弾性波法のコンクリート構造物への適用に関するミニシンポジウム
－ 投稿・発表および参加募集(案)－

開催日	2019 年 6 月 11 日 (火)
-----	---------------------

論文投稿申込締切	2019 年 3 月 26 日 (火)
論文原稿提出締切	2019 年 5 月 7 日 (火)

主催 (一社) 日本非破壊検査協会 鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門
協賛 (予定): 土木学会, 日本建築学会, 日本コンクリート工学会, 日本材料学会, セメント協会, 腐食防食学会, 日本鉄筋継手協会, 全国生コンクリート工業組合連合会, 土木研究所, 建築研究所, 日本非破壊検査工業会, 日本マンション学会, iTECS 技術協会, 建設コンサルタンツ協会, 日本赤外線サーモグラフィ協会, 日本建築仕上学会, 土木研究センター, 建築保全センター, 建材試験センター, 日本建築総合試験所

期日 2019 年 6 月 11 日 (火) 10:00～17:00
会場 亀戸文化センター(カメラiapラザ) 3F カメラホール
東京都江東区亀戸 2-19-1
<https://www.kcf.or.jp/kameido/>

主 旨

日本非破壊検査協会では、2009 年、NDIS2426「コンクリート構造物の弾性波による試験方法」として、「第 1 部：超音波法」、「第 2 部：衝撃弾性波法」、「第 3 部：打音法」の規格を制定致しました。このうち、衝撃弾性波法は、現時点において上記の 3 つの手法の中でコンクリート構造物の品質管理や維持管理の場面での適用実績が最も多い状況を鑑み、初版発刊以降の当該手法の技術的な進展状況を踏まえて 2014 年に改正 (NDIS2426-2:2014 コンクリートの非破壊試験－弾性波法－第 2 部：衝撃弾性波法) を致しました。衝撃弾性波法は、今もなお、現場での適用実績は依然として多く、学協会における論文の発表件数も、その他の非破壊試験と比較して群を抜いて多い状況であり、注目度の高い手法と考えられます。

このような背景を受けて、2018 年、NDIS2426-2 原案作成準備 WG (委員長：大阪大学大学院・鎌田敏郎教授) を立ち上げ、2020 年の改正を目指して、WG で現在、鋭意検討を続けております。特に、新設や供用中のコンクリート構造物への適用実績を踏まえて、どのような評価対象に対して、規格をどのように運用したのかを整理した上で、より実態に即した形で、わかりやすく、そして使いやすい規格へと改正する予定でおります。

そこで、上記を具現化するため、衝撃弾性波法のコンクリート構造物への調査事例に関する「論文」を広く募集し、発表頂くことで、これらを NDIS 改正の基礎資料にすることはもとより、規格・規準類のあり方や NDIS の果たすべき役割についても多角的かつ闊達な討議を行いたいと考えています。また、非破壊試験や規格・規準類の最新の情報に関する招待講演も設ける予定です。投稿・参加ご希望の方は、下記要領をご参照のうえ、奮ってお申込下さい。

記

[1] 論文投稿申込および論文原稿提出

- 投稿内容** 新設や供用中のコンクリート構造物に対して弾性波法を用いて調査を行った事例。
既発表論文も含む。
- 申込資格** 特に無し。
ただし、連名者は最大で合計 5 名まで（講演者+連名者で合計 6 名まで）。
- 投稿申込** 事務局へご連絡下さい。折り返し、申込用紙のメールをお送りします。
* 投稿申込料は不要です。講演者は下記[2]の参加申込をお願いします。
* 講演者 1 人につき複数題ご発表頂くことは可能です。
- 採 否** ミニシンポジウムの目的を勘案のうえ、NDIS2426-2 原案作成準備 WG にて採否を決定します。
- 執 筆** 論文投稿申込を頂いた方に、「原稿作成テンプレート」をメールでお送りします。原稿の頁数は 2 頁以上の偶数頁です。
- 原稿提出** 論文投稿申込を頂いた方に、執筆要領および原稿提出方法のメールをお送りします。期日までに原稿を提出してください。

[2] ミニシンポジウム 参加申込

定 員 400 名程度

参加費

鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門登録団体会員：	無 料
鉄筋コンクリート構造物の非破壊試験部門登録個人会員：	無 料
学生会員：	無 料
講演者：	無 料
上記以外の一般：	2000 円
上記以外の学生：	無 料

* 連名者の方も参加申込が必要です。

申込期限 定員になり次第締め切ります。

申込方法 参加申込書を事務局へお送りください。

[3] ミニシンポジウム 懇親会 参加申込

会 場 亀戸文化センター周辺（未定）

参加費 5,000 円（予定）

申込方法 参加申込書を事務局へお送りください。

[4] 講演要領

(1) 参加申込をお済ませください。

(2) 講演時間は以下の通りです。

講演時間	質疑時間
10 分	10 分

(3) 各自の講演用ファイルを含むノートパソコン（電源ケーブル含む）をご持参ください。

[5] 事務局（お問合せ先）

〒136-0071 東京都江東区亀戸 2-25-14

一般社団法人 日本非破壊検査協会 学術部 学術課 蒲生康一

Tel : 03-5609-4015 Fax : 03-5609-4061 E-mail : gamou@jsndi.or.jp